

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年1月22日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690700010
法人名	社会福祉法人 愛誠会
事業所名	グループホーム 芦穂の里
所在地	鹿児島県奄美市名瀬大字大熊1309番地3 (電話) 0997-57-7705
自己評価作成日	令和4年12月22日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和5年1月11日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

①利用者一人ひとりの意欲や興味を引出し、無理のないよう安心して穏やかにその人らしい生活が送れるよう支援しています。
 ②地域との関わりを大切にイベントや各種行事に参加し生活の変化を感じ楽しんで頂くように支援を目標にしているが、現在はコロナ感染対策予防対策の為に中止している。
 ③会話のできる場所を提供し、入居者の笑顔を引き出すように支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・毎朝理念を唱和し全職員が理念を共有しながら日々のケアに取り組んでいる。
- ・自治会に加入し地域行事にも参加し地域住民との交流、小中学生との交流もできていたがコロナ感染対策の為に今は自粛している。看護福祉学校の実習生の受け入れは行っている。車で自宅訪問をしたり買い物にも出かけることもある。
- ・運営推進会議は事業所内で行っていて委員へは書面で郵送している。役場職員との連携も取れていてコロナ感染防止対策の取り組みについても協力体制が出来ている。
- ・毎月家族に便りを届けていて利用者の様子を知らせている。面会は窓越し面会やリモートで行っている。
- ・訪問診察を行い主治医との連携も取れている。
- ・避難訓練は消防署の協力をもらいながら年2回実施している。地域との協力体制もできている。
- ・職員は、管理者・ケアマネジャーと日々のケアについて相談し、職員同士協力しながら楽しく業務ができている。資格取得にも意欲的である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	住み慣れた地域でゆっくり、のんびり安心して暮らして行けるように、理念を作っています。	理念は、フロアと事務所に掲示している。毎日朝礼時に理念の唱和を行い、職員で理念を共有しながら日々のケアに取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	季節に合わせた行事参加。地域の方々と交流を持ちながらいつでも参加しやすい関係作りを心がけていますが、現在は、コロナ感染対策の為に中止している。	自治会に加入し季節の地域行事にも参加していたがコロナ感染対策の為に現在は自粛している。以前は小・中学生の訪問があり交流していた。去年は実習生の受け入れを行った。家族からの差し入れもある。コロナ感染が落ち着いたら様々な行事の再開を行い交流を図る計画である。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	家族や色々な方達の訪問を受け、認知症を理解して頂きながら地域の方々に、受け入れてもらえるようにサポートしていますが、現在はコロナ感染対策の為に中止している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	検討事項や利用者の状況など報告し、出席メンバーから色々な意見を聞きながら、スタッフと共有しサービス向上に努めていますが、現在はコロナ感染対策の為に中止しています。現在は、書面による報告のみ。	会議は定期的開催しているが事業所の関係者と職員で事業所の様子や取り組み状況を話し合い、委員へは書面で郵送している。コロナ感染拡大防止のための手順や注意事項等も行政から情報が届き、蔓延することなく対応することができた。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市や市内の事業所が主催する研修会に参加し、情報交換や意見交換を行って、困難な事例については、各担当者に助言を頂いていましたが、現在は、勉強会参加などは、コロナ感染対策の為に中止しています。	行政担当者にはコロナ蔓延防止対策の対応や取り組みについても相談・助言を得ている。不明な点は相談に出かけている。以前は大島地区群島施設連の研修会にも参加していたが今はコロナ禍の為自粛している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	施設内で身体拘束勉強会を年2回開催して、身体拘束に付いて、職員が理解できており、ケアの方向性においてはカンファレンス等で振り返りを行い確認しています。	身体拘束についてマニュアルを基に年2回勉強会を実施している。カンファレンスでも振り返りを行い、身体拘束・言葉の拘束についても全職員が理解しケアに取り組んでいる。昼間は玄関の鍵はしていないので出て行こうとする利用者もいるので散歩に切り替えて職員が寄り添い落ち着くまで支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設内で虐待防止研修会を開催して、認知症の方々への、虐待防止の徹底を心がけ、支援する事が出来ています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	日常生活自立支援事業や成年後見制度について、学ぶ機会・研修がなかったので、今後は勉強会等が有れば参加して行きたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約・解約時は、十分な説明を行い、利用者や家族に理解して頂き同意を得るようにしています。医療機関との連携もサービスに入れ受診時の内容を十分に説明し、不安や疑問に答えるようにしています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者の状況は必ず、1回/月のお便りにて家族へ報告し、家族からの意見・要望を気軽に声掛けが出来る、雰囲気作りを心掛けています。要望がある時は、ミーティングを開き職員全員で話し合い反映させています。	利用者からの要望を日常生活の中から聞き取っている。毎月家族に利用者の状況を便りで写真も時々添えて送っている。電話で話をしたりLINEでつながっている家族もいる。訪問歯科の希望を依頼される等、家族の意見・要望を表せる雰囲気作りを心がけている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	日頃の生活の場で、職員の気づきや相談等を聞きながら勉強会を持ち反映できています。	朝礼やカンファレンス・日々のケアの中で話を聞いたりしている。移動の難しい利用者には2人介助をした方が介護者の負担を減らせるのでは等の意見があり、日々のケア・運営に活かしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の認知症介護のスキル向上の為、常に相談し合える環境作りを行っています。職員体制を厚くして、急な用事でも勤務変更できる環境にしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月1回、カンファレンス終了後に、多くの職員が参加できるように勉強会の計画を立てています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>大島地区グループホーム協議会 群島施設連に加入し、研修や勉強会に参加し交流を図っていましたが、現在は、コロナ感染対策の為中止しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人、家族の意向を聞き取り安心して生活できる雰囲気作りをし利用者との信頼関係作りに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の意向を聞き取り、家族の不安等を一緒に考え支援のあり方を示すように心掛けています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ケアプラン作成時に、家族・本人の意向を聞き取り、必要としている順位にそって、サービス支援が出来る様に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の意欲を引出し、できる事を探し、自分で取り組む事ができる体制を導くように、お互いが信頼できるような関係作りをしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	地域の行事やホームのイベントに参加して頂き、本人と家族が同じ空間で過ごし、気持ちを一体化できるように努めていましたが、現在は、コロナ感染対策の為に中止しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	以前、関わっていた事や生活歴等を把握することで、人との繋がりの関係が保っています。	コロナ禍で面会が難しい中、家族とは窓越しで行っている。利用者と自宅訪問をしたりドライブで買い物に出かけたりしている。訪問美容・理容を利用している。馴染みの人や場所との関係が途切れないように工夫している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	皆さんと一緒に集まって過ごせる、時間と場所をセッティングし、必要に応じて、職員がサポートできる様に心掛けています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院等で、退居になり契約が終了しても、ホームに気軽に足を運んで頂けるように、家族の方に声かけしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活において、一人ひとりの想いを引出し、行動や表情から、本人の望む意向の把握に努めています。	日々のケアの中やレクリエーション時の行動や表情からも思いや意向の把握をしている。困難な場合は家族の協力や生活歴等から本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの生活歴や、今までの暮らしの状況を把握する事で、家族へ必要とする事の協力を、お願いする事に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	チェック表を参考にして、排泄、水分、食事量、バイタル変動を把握し、一人ひとりの意欲を引出し、不穏なく暮らせるように努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎朝の申し送り、1回/月のカンファレンスを通して、意見交換を行い、統一したケアに取り組み、主治医、家族との連携を図り、助言を頂いています。	本人・家族・主治医からの意見を聞き、職員とは毎月のカンファレンスで話し合い、現状に即した介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に、介護計画の見直しは変わりがなければ1年、状況に応じて見直しは随時行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日のケース記録は、担当者によって本人の言動、行動が細かに記載され、一人ひとりのケアの実践、工夫などが自由に記録でき、職員で共有できるようにしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	長期入院を避ける為、主治医と連携を取り、又、SNS等を利用して入居者の状態・患部の写真を撮り、主治医に早急に報告して、早期受診ができるように取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域行事の参加、看護専門学校からの福祉体験学習の受け入れ、地域美容師の訪問等の、地域資源を把握し、豊かな暮らしを楽しむ事ができるように支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族に、訪問診療の説明して了解を得て、元々の医療機関から情報提供して貰い、以前と同じ様に医療支援が受けられるようにしています。他科受診の必要時は、主治医から紹介状を頂き受診できる様にしています。	本人・家族に以前の医療機関からの情報提供で継続して医療が受けられるように支援を行っている。訪問歯科もある。他科受診の折は紹介状を持って職員が付き添っている。医療機関で家族と合流して情報を共有する場合もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	看護職員との協働は無し。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院時、「入院診療計画書「入院看護要約」を求め早期退院に向けてアプローチを行っています。退院のカンファレンスを開き主治医より指示やアドバイスを受ける事ができています。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	家族の意向を伺いながら、ホームの方針を説明し、話し合いを持つ事ができています。訪問診療を取り入れ、チームで支援に取り組んでいます。	利用開始時に本人・家族に看取りは行わない旨を伝えている。以前主治医の意向・協力で看取りを行ったことがある。今後重度化や終末期についても主治医と関係者・職員で話し合いを行いながら前向きな検討をしている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	消防署の指導の下、定期的に「救急講話、救命入門コース」で全ての職員は訓練に参加し、実践力を身に付けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署の指導の下、定期的に災害訓練を行い、避難場所の確認を明確にしています。又、日頃から地域、近隣住民の方や全職員の協力が得られるように、働きかけていますが、現在は、コロナ感染対策の為に中止しています。</p>	<p>年2回消防署に来てもらい避難訓練を実施している。昼夜間想定で交互に火災・地震で訓練をおこなっている。地域住民との協力体制もできている。備蓄も水や真空パックのご飯や缶詰等を準備し消費期限のチェックも行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>本人の気持ちを第1に考え、無理強いしないケアに取り組み、自己決定がしやすい声掛けを支援しています。</p>	<p>人格を尊重して優しく声かけしたり丁寧な支援を心がけている。馴れ合いになって言葉や表情に出た時など管理者は注意をして職員が気づくようにしている。利用者には名字で呼びかけている。無理強いしないように声掛けをしながら個々に人格を尊重したケアに努めている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>毎日の生活の中で、個々の表情をつかみ、本人が思いや希望を伝える事ができ、自己決定できるように心掛けています。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりのペースに合せ、過ごして頂くように、普段から配慮し、1日の日課の決まり事を強制せず、本人の希望や意向が聞けるように支援しています。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>定期的に美容師の訪問を取り入れ、おしゃれを楽しんでいます。自分で出来る方は、毎朝の更衣は、本人に好みの服を選択してもらい興味を引出している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>調理のお手伝いはできないが、四季の野菜に興味を持って頂き、食事を楽しむ事ができています。食器拭き等の、自分の役割を持ちできる事の喜びを感じている事は出来ていない。</p>	<p>利用者にはもやしの根切や筍の皮むき・台拭き等、できることを一緒にしている。手作りのおやつ・ぜんざい等を作ったり行事食も提供している。トロミや刻み等、食事形態を工夫し食事が楽しみになるよう支援を行っている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食欲低下の方には、栄養補助食品を提供し、咀嚼、嚥下常態により食事形態の工夫、トロミ粉を使う事で、自力摂取を支援しています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後の口腔ケアは、自力を促し必要に応じ、磨き上げの介助を行なっています。義歯はポリドントに浸け、清潔が保てています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>自尊心に配慮し、チェック表から一人ひとりの排泄パターン、サインを察知できるようにしています。尿意の無い方は、定期的に声掛け誘導し、排泄の自立を促しています。</p>	<p>排泄記録やしぐさなどで本人の傍に行き声かけしてトイレ誘導したり自立に向け支援している。排泄の失敗があっても周りに気づかれないようにしたり、自尊心を傷つけないように声掛け誘導で自立に向けた支援を行っている。夜間はポータブルトイレを使用している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給を促し、ｽｽﾞﾐﾙｸや芋の提供をする事で、便秘の改善に役立っています。必要に応じ、腸のマッサージや普段から身体を動かすことの必要性、食事の大切さを認識して頂いています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	体調管理をしながら、時間帯の工夫、入浴拒否の時の支援方法等、職員の都合に合せず、本人のペースで、意欲を引き出す声掛けをしています。洗える所は自分でするように、見守りをしています。	週2回は入浴してもらいたいので体調を見ながら時間帯や声掛けを工夫している。入浴を嫌がる利用者には足浴をしたり声掛けの工夫をして、本人のペースで見守りしながら入浴支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中はﾌｫｰで過ごせるように、離床を促し体調管理をしながら、レｸﾞｰｼﾞｮﾝ等を楽しみ、安心して過ごす事ができるように支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医の指導、指示を受け薬の変更等があった時は、その都度申し送りをして、記録に残し職員が把握できるようにしています。服薬時は手渡しして、飲み込み確認をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物干し、タタミ、新聞折など、軽作業などを出来る範囲で、1人ひとりの役割を持って貰い、感謝の気持ちを伝えています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	週1回のドライブを設定し、馴染のある場所へ出かけ、四季の移り変わりを感じて頂けるよう支援し、家族の協力もお願いして、墓参り等も計画する事で、本人に満足頂けるよう支援していましたが、コロナ感染対策の為に中止しています。	コロナ感染対策の為に外出を自粛している。利用者の状況に応じて事前に行きたい所を聞いて受診した帰りなど一緒にドライブで今まで住んでいたところの付近に行ったりしている。駐車場での散歩等も行っている。車から桜の花見に出かける計画もある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭の所持はしていません。必要物品の購入は、施設が代理で購入出来る事を、本人に説明しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	家族からの電話が、何時でも受けられ、本人が気兼ねなく話せる、環境作りをしています。本人の希望時は、何時でも対応できるように支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室に家族の写真を置く事で、懐かしく感じ落ち着いた雰囲気の中で過ごす事ができています。フロアの廊下に、季節毎の顔なじみの方達の写真がある事で、足を止め見入る事ができています。	フロアは大きな窓があり広く明るい。エアコンや空気清浄器・温湿度の管理を行い、換気にも配慮している。大型テレビ・ソファがあり、キッチン是对面式で利用者の顔が見える。壁は季節や生活感ができるように工夫し飾られている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアにソファ置き、ゆっくりテレビ鑑賞や傾眠したり、一人ひとり自由に過ごす事ができています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	何名かは、本人の思い出の物を家族と相談し配置。使い慣れた物や、好みの衣服を揃える事で、不穏を回避出来る様に、居心地よく過ごせる様に、工夫しています。	居室はエアコンとベッドが備え付けてあり、自分の家からもってきた布団や飾り物・テレビ・タンス・テーブル・椅子などが持ち込まれている。家族の写真や位牌などもあり、落ち着ける部屋になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	本人の意向を聞きながら、自立した生活へ向け、家族の方の協力を得ながら、本人が不穏にならないように支援しています。トイレや居室内の動線の環境整備を整え、安全に移動できるように工夫をしています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
		○	3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
		○	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない